全大教
島根大学職員組合

くみあいニュース 号外（全学配布版）

2009年6月30日

島根大学職員組合広報部
内線 2198，ダイヤルイン 32-6407
E-mailunion-s@sula0043.soc.shimane-u.ac.jp
http://sula0043.soc.shimane-u.ac.jp/kumiai/kumiai.html

ボーナスカットの問題について声明を出します

今期のボーナスカットの問題について組合はカット反対の立場で３回の団体交渉を行いました。その過程で大学当局から代償措置の提案を引き出したこと，大学が誠意をもって対応したことなどを総合的に評価し，最終的にボーナスカットの提案を受け入れることにしました。

なお，代償措置とは①教員のカット分は教育研究費とし職員分は職員の研修等の費用とする，②事務職員のキャリアパスを整備する，③有期雇用職員の登用制度を見直し充実させる，というものです。

組合が今回このような判断をおこなったことについて，声明を発表いたします。お読みいただき経緯等をご理解いただければと存じます。

2009 年 6 月 30 日

6 月ボーナス支給日によせて（声明）

島根大学職員組合

今日はボーナスの支給日です．職員の皆さん，そして家族にとって~~も~~待望の日であると思います．~~と~~残念なことに今年の 6 月分ボーナスの支給額は昨年を下回ります．これは大学が 6 月分の支給割合を 2.15 月分から 1.95 月分（いずれも期末及び勤勉手当の計．勤勉は成績率により差があり）へとカットを決定したからです．これは約 10%のカットに相当します．このボーナスカットは 5 月 1 日に臨時の人事院勧告が出され，国家公務員の 6 月ボーナスが同様に「凍結」されることを受けたものです．

組合は，大学からこの方針について 5 月 7 日に説明を受け，その後 3 回の団体交渉を行いました．その中で大学は，公費の投入を受けて成り立っている国立大学法人の職員の給与決定について現在取りうる最も合理的な対応は人事院勧告に準拠することであると判断しているので，今回も人勧に対応することが社会的説明責任を果たす観点から必要であることを主張しました．組合は，法人化後の大学では制

度上，人勧に準拠する必要はないこと，今年度の 6 月期ボーナスを含む人件費は学内予算化されており，また今回の人勧に連動した形では運営費交付金は減額されるわけではないこと，大学としてのパフォーマンスは低下していないこと，そしてこの時期の給与減は職員の士気にかかわることから，ボーナスカット反対を主張しました.

結果，大学は当初のボーナス 0.2 月分カットの提案に加え，1）生じた予算との差額は，教員分は教育研究の基盤経費として活用，職員分は職員の研修等の費用として活用する，2）事務職員のキャリアパスの整備を行い，それにあたっては引き続き組合と意見交換を進める，3）有期雇用職員の登用制度の見直し充実を行う，という代償措置の提案を行いました．組合はこれらを総合的に判断し，また一連の団体交渉に大学が誠意をもって対応したことを評価し，今回のボーナスカットを含む提案を受け入れることとしました.

ボーナスが 0.2 月分（平均 7 万 8 千円）カットされる事態は，私たち職員にとって大変なことです．そのような重大事案が，人勧準拠のため，という理屈で提案されることは大変残念です．法人化の時に言われた大幅な自律性の拡大のために，大学は最大限の尽力をすることを求めます.

全国の状況をみると，すべての国立大学法人において同様のボーナスカットが行われようとしています．その中でいくつかの大学では組合の交渉によって代償措置を獲得できていますが（埼玉大学，富山大学など），ほとんどの大学では何の代償措置もなくボーナスカットだけが強行されようとしています．そうした中で島根大学では，大学側が組合に対して早期に提案を行い，団体交渉にも誠実に応じ，代償措置の追加提案も行うなど，組合を尊重する立場を具体的な行動として示しました．組合も大学のこうした立場を酌み，原則的な人勧準拠反対の立場は確保しつつも，今回の一連の団体交渉を決裂させない努力を行いました.

今回，大学と組合が構築した信頼関係は，今後の島根大学における健全な労使関係を基盤とする大学の発展に寄与するものと信じています.

今回組合が合意に至った経緯と考え方をここに示し，組合員およびすべての職員の皆さんのご理解をいただきたくお願いします.

なお大学には，その中でますます重要な位置を占めるようになり，その働きがなければ大学が成り立たないパート職員がたくさんおられます．このパート職員には実はボーナスは支給されていません．組合では長年にわたり大学に支給を求めてきました．今回の正規職員のボーナスカットにともなう人件費の差額の使途の一つとしても大学に要求しましたが，今回も受け入れられませんでした．こうした状況をすべての職員の皆さんに知っていただきたく思います．そして，非常に待遇の悪いパート職員の待遇改善にも取り組む組合にご協力をお願いします.